

2016.12

留学中のレポート②

フランス（リヨン第三大学）

飯間陽佳

●日常生活

リヨンに到着してから約3ヶ月が経ちました。滞在する上での様々な手続き等もすべて終え、一安心しているところです。フランスでの生活にも慣れ、フランス語もまだまだではありますが、当初よりは言っていることを理解できるようになり、自分の言いたいことも伝えられるようになってきました。相変わらず、日本では起こりえないトラブルもありますが落ち着いて対処できるようになれたという点で成長したと感じています。

先月はボジョレーヌーボーの解禁日にボジョレーでワイン巡りをしました。学校が主催でバスを出してくれました。ボジョレーは小さな町でとても可愛らしかったです。街中の人が音楽を演奏したり、歌を歌ったり、踊ったりと、ボジョレーの解禁を盛大に祝っていました。とても楽しい貴重な体験ができました。

そして、12月8日、9日、10日の3日間、リヨンで光の祭典がありました。去年はテロの影響で中止されたので一年越しの祭典となりました。街中が光で照らされ、本当に綺麗でした。テロを警戒している為、荷物チェックが各所で行われていました。交通規制などもされていて、多くの市民の方々の協力の下で祭典を楽しむことができているんだと改めて感謝しました。

ボジョレーにしても、光の祭典にしても、街全体が盛り上がり、こういった伝統的な祭りを世代問わず楽しめるフランス人の陽気さが私はとても好きです。

●学校生活

11月に中間テスト12月には期末テストがあり、前期が終了しました。とても早く感じました。自分の中で、成長を感じられた授業の一つとして、翻訳の授業があります。天声人語やニュースなど、日本語自体が難しい文章をフランス語に訳すのですが、初めは本当に難しく苦勞しました。今でも、難しいと感じますが、難しい文章を簡単に言い換えることができるようになりました。その点が前期の授業において成長できたところだと思います。まだまだ得られるものはたくさんあるので後期も頑張ろうと思います。

また、後期は翻訳の授業だけではなく、他の授業、例えば歴史や、文化などの授業もとってみようと考えています。おそらく、何を言っているのか理解するのに苦勞し授業についていくのに精一杯になるとは思いますが、後期が終わる頃には理解でき、楽しめるぐらいになりたいです。



光の祭典の時の写真です。